

氏名 Name PANTA KASHINATH

日付 Date 2026 年 8 月 15 日

国際都市おおた大使活動報告レポート

Cool OTA-KU Ambassador Monthly Report

(前月分のレポートを翌月 15 日までに bunka@city.ota.tokyo.jp に送ってください)

(Please send your monthly report to the above email address by the 15th of each month.)

1 今月は国際都市おおた大使として、どのような活動をしましたか？ What activities have you carried out as an ambassador this month?	
(該当するものにチェックをして詳細を記入してください。いくつでも可) (Please tick the appropriate box(es) and write down details of your activities.)	
☐	来賓として登壇したり、紹介・挨拶があったイベント Events attended as an important guest / events where you were introduced or gave a speech.
☒	主催者側として参加したもの 例: ファッションショーや交流イベントなど Events which you helped to organize. e.g. fashion shows or exchange events.
☐	講師、会議、研究会などのメンバー、通訳など知識・経験が必要とするもの Activities requiring skill / knowledge. e.g. lectures, conferences, research groups, interpreting
☐	その他 Other

2 今月の大田区 PR 情報発信について

Promotion of Ota City as an ambassador

(Please tick the appropriate box(es) and write down details)

発信媒体 PR medium		発信した内容 PR contents	大田区 PR 情報の掲載回数 Number of posts promoting Ota City information
☒	Facebook 等SNS Facebook or other social media	1	1
☐	ブログ Blogs		
☐	その他 Other		

★ 欄が足りない場合は、付け足してください。

Please feel free to add more cells if you have carried out lots of different promotions !

3 参加した大田区のイベントの感想・大田区の魅力など PR についてご記入ください。

写真があれば写真も添付してください。

Please tell us your thoughts on the Ota City event(s) you have attended, or write about your PR of Ota City's attractions. If you have photographs, please attach them to this report.

○イベントの感想など

Your impressions of Ota City's event(s) etc.

■■入新井盆踊り大会(大森北グリーンベルト)■■

この度は、国際都市おおた大使として今年も、入新井盆踊り大会(大森北グリーンベルト)行事に参加させて頂きました。大田区大森、入新井の夜。太鼓の音に合わせて輪になって踊る人々を見ながら、ふと気づいたことがあります。この盆踊りは、何百年も前に「亡くなった人の魂を迎える」ために始まった踊りだそうです。つまり今夜、生まれた国も言葉も違う私たちは、見知らぬ誰かの祖先の魂を、一緒に迎えておりました。

血のつながりも、育った土地も違う。それでも輪に入れば、足並みは自然に揃っていきます。人間という生き物は、本来こういう風にできているのかもしれませんが——文化や言語は後から生まれた「衣装」であって、その下にある心臓の鼓動は、驚くほど同じリズムを刻んでいます。

私自身、輪の中に入って太鼓の音に身を委ねた瞬間、頭で考えるより先に、体が自然と動いておりました。隣で踊る方が日本人であるか外国人であるかなど、もはや意識にすら上りま

せん。同じ拍子を踏み、同じ汗をかき、同じ夜空の下で笑い合う——そこにあったのは、言葉を超えた「人間らしさ」そのものでした。理屈で理解する寛容性ではなく、体で味わう寛容性を、これほど深く実感したのは初めてかもしれません。

寛容性とは、誰かが「許してあげる」ことではなく、元々私たちが同じ輪の中にいたことを、思い出す作業だと存じます。今回の入新井盆踊り大会は、その原点を、私に静かに、しかし力強く教えてくれました。





panta_kashinath • Follow



panta_kashinath Edited • 2d

この度は大田区大森にて開催された入新井盆踊り大会に参加させて頂きました。

大田区大森、入新井の夜。太鼓の音に合わせて輪になって踊る人々を見ながら、ふと気づいたことがあります。この盆踊りは、何百年も前に「亡くなった人の魂を迎える」ために始まった踊りだそうです。つまり今夜、生まれた国も言葉も違う私たちは、見知らぬ誰かの祖先の魂を、一緒に迎えておりました。

血のつながりも、育った土地も違う。それでも輪に入れば、足並みは自然に揃っていく。人間という生き物は、本来こういう風にできているのかもしれない——文化や言語は後から生まれた「衣装」であって、その下にある心臓の鼓動は、驚くほど同じリズムを刻んでいます。



12



2 days ago

[Log in to like or comment.](#)